

令和5年度 江戸川区立北小岩小学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標	○心豊かでやさしい子 ○よく考え表現する子 ○体をきたえ元気な子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○「誠実さ(品性)・情熱・自律(規律)・結束・敬意」の5点を軸に教育活動を常に評価・検証し、主体的に業務改善に努める学校 ○個性を生かし「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を獲得する児童 ○自己研鑽と研究・研修に励み、豊かな人間性、広い社会性、高い専門性を身に付け、教育課題の解決に努める教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> 生活指導上の課題には迅速に対応でき、大きな問題にはならず解決することができた。特にエンカレッジルーム対応の児童への手立て等は学校全体の共通した認識で実施することができた。 <課題> 今後も体育科や道徳科の学習でオリンピックレガシーに取り組み、継承していく。 全国学力調査において、算数科では東京都の正答率を下回ったので、少人数指導や補習等の体制を見直し、改善に努める必要がある。		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価	年度末に向けた改善策	
				取組	成果			
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・校内教員による補習教室…年25回以上 外部委託による補習教室…年120回 東京ベージックドリル診断シート…年3回 ・個別の課題に対応できる学習アプリの導入	・東京ベージックドリル正答率 80%以上 ・児童アンケート肯定的な回答 80%以上	B	B	○補習教室やベージックテストの計画遂行と分析 ○算数担当教員との指導の連携 ●中位の児童への基礎基本の徹底	例年、学校全体が落ちついていて集中して授業が行われていて大変すばらしいと感じている。算数のベージックドリルの正答率が目標を達成できるように今後も尽力してもらいたい。 アンケートからも子供たちが満足していることが伝わってくる。中位層の子供たちの底上げを今後ともよろしくお願ひしたい。	・週3回5校時前の10分間を「学びタイム」と位置付け、各学級において児童の実態に応じ担任教員が必要であると考え、学習課題に取り組む。 ・学校独自の学力調査を実施する。全国学調の他、今年度より区の学力調査も行われることから、本校の取組は11月ごろに予定し、取組と結果を考察し更なる学力向上に生かす。
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	探究的な学習 学校図書館を活用する授業の実施	探究的な学習の実施…年3回以上 学校図書館を活用する授業の実施…週1回以上 児童アンケート肯定的な回答 80%以上	B	A	○調べる学習コンクール全児童応募 ●学校図書館の積極的な運用 ●小岩図書館司書の連携	小岩図書館とのサテライト校として昨年度から連携を深めているのはうかがっている。学校図書館だけでなく公共の図書館の利用も増えていくことを望んでいる。 調べる学習コンクールの応募も飛躍的に伸びたので、来年度以降も引き続きいい取り組みなので継続してもらいたい。	
	ICTアシスタント、情報リレーによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	タブレットを活用した授業の日常化とGIGA研修の実施	GIGA研修実施…週1回以上 児童アンケート肯定的な回答 80%以上	B	A	○ICTアシスタントとの積極的な情報共有 ○校内研究年間講師との日常的な連携	マイルシードというアプリになって活用が広がったのは素晴らしいことだと思う。日常的に使用している姿も見えてよかった。	
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上>	運動遊びの実施…年25回以上 体育授業の改善…運動時間+5分 コーディネーショントレーニング地域拠点校の取組	体力テスト体力合計点全年全項目で東京都平均を上回る	B	B	○運動遊び・各種運動週間の年間を通しての設定 ●平均より下回る学年が多かった「長座体前屈」「シヤトルラン」「上体おしこ」への対策	体力テストの分析を行い、本校の課題も明確になったようなので、来年度の課題としてほしい。柔軟性と持久力を高める取り組みをぜひ行ってほしい。	体力テストに関しては、一つ一つの種目を教え、練習する時間を設ける。特に反復横跳びやソフトボール投げなどは練習を確実にし、全員ができる状態で計測に取り組む。
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	コーディネーター、特別支援指導担当教員、外部講師による特別支援教育研修	・学期に2回実施 ・教職員学校評価の回答	B	A	○巡回指導教員からの日常的な情報共有 ●エンカレッジルームの活用システムの見直し	学校全体で特別支援教育に取り組んでくれたのがよく伝わってきた。一人一人を大切に、個の特性に応じた手立てをぜひ行ってほしい。地域としても学ぶ機会がいただけたらありがたい。	
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	・hyper-QUの実施 ・一人一台端末を活用した教育相談の実施	・「Q-U」学級満足度要支援群出現率10%未満 ・不登校児童との月1回以上のオンライン面談 ・児童アンケート肯定的な回答70%以上	B	A	○不登校児童へのオンライン学習や別室登校、共育プラザとの連携などの柔軟な対応	新型コロナが5類へ移行されて以前の学校生活に戻ってきたが、不登校傾向を解消していく努力は今後も継続してほしい。 QUの結果はクラスによって違うだろうが、私たちは先生方を信頼・応援しているので、参考にしながらより良い学級にしていってほしい。	
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	・学校生活の様子を学校ホームページにより発信する ・学校ホームページを保護者にとって必要な情報のポータルサイトにする ・保護者参加型の学校公開 ・感染症対策等の状況を踏まえた上で、日常的な学校生活を取り戻していく。	・週1回以上の学校ホームページの更新 ・学校ホームページ上に紙ベースの保護者向け配布物を毎回掲載する ・全学級とも保護者参加型の授業公開を年1回以上実施する	B	C	○連絡用アプリによる連絡事項の即時発信 ○ゲストティーチャーを招いた授業の地域・保護者への公開	学校ホームページは定期的に更新されていて、いつも楽しみにしている。 学校公開でもゲストティーチャーとの連携授業を見せていただいた。他の学年でもたくさん行っているようなので、今後も継続して子供たちに体験させてあげたい。	学校ホームページがリニューアルされたことに伴い、運用を革新し、担当者や一部の職員のみ携わるのではなく、全職員が登校できるようにシステム変更を行う。
	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	学校関係者評価委員会…年3回 中間評価、最終評価の公表	児童アンケート 肯定的な回答80%以上 保護者アンケート 肯定的な回答80%以上	B	B	○学校関係者評価委員会の定期開催 ○各行事における感想用紙における意見集約と公表	新型コロナがインフルエンザと同等の5類に移行されたので、以前のように開催されてうれしく感じている。子供たちの様子も見ることで、先生方の日々の取組も知ることができた。	過去2年間、制限下で開催のできなかった会合を今年度は開校70周年の節目の年でもあることから、以前のような形式で開催していく。
特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	学校経営支援を担う人材の導入 会議時間の短縮と回数の削減	・副校長補佐の導入 ・夕会…週2回から週1回の実施に削減 ・校内連絡掲示板や教員用端末の活用	B	B	○会議の精選 ○タブレット端末の活用	先生方が生き生きと仕事されていて、素晴らしいと思う。事務的な作業を補助してくれる方も活用して授業や子供たちにかかわれるようにしていきたい。	副校長補佐、学級指導補助員、SSSなど多様な会計年度任用職員を雇用していくことで、業務の分散を図り働き方の改革につなげていく。
	「なかよし班活動」の取組による長歌の念や思いやりの心の育成	なかよし班活動…月1回以上 ロングなかよし班活動…2学期以降月1回	児童アンケート 肯定的な回答80%以上	B	B	○なかよし班活動での異学年交流 ○コロナ前の内容での活動実施	子供たちもなかよし班活動を楽しんでいるようで安心している。今後も継続してもらいたい。	登校班、異学年交流等これまで教育効果の要因として考えられてきた取り組みは変えず、特別活動の在り方や指導の仕方を学ぶ機会を設ける。
	俳句指導による思考力・表現力の向上	俳句の作成…年4回以上 句会…年2回以上 俳句コーナーの更新…年5回以上	児童アンケート 肯定的な回答80%以上	B	B	○本校の特色ある取り組みとして、通年にわたる計画的な指導 ○表現委員会における計画的な掲示・発表計画 ○高学年での句会の実施・公開	本校の伝統となっていて素晴らしい取り組みだと思う。季節などが低学年には難しいかもしれないが、丁寧に指導して素敵な作品を作ってもらいたい。	所属職員の半数以上が異動等により入れ替わった今年度、これまでの取組を継続していく上で、全職員でカリキュラムマネジメントを通して効果的に進めていく。